

具体的な事項の柱	実施する機関													
	項目	富山県	富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市					
			実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期				
1. ハード対策の主な取組														
■洪水を河川内で安全に流す対策														
1	浸透対策 バイピング対策 流下能力対策 侵食・洗掘対策 堤防整備 農地の維持・保全 農工の整備 漏水対策 河道管理 ダムによる洪水調節 洪水をバイパス等で排水する施設の整備 河道浚渫 本川・支川合流部対策 土砂・洪水氾濫対策	・洪水を河川内で安全に流すためのハード対策を推進 ・河道内堆積土砂や樹木の計画的な撤去を推進する。 ・既設砂防堰堤を改築し、下流の保全対象の安全性を向上させる。 H30～R2 【片貝川】 護岸 L=0.36km（黒谷地内） 伐木 L=5.72km（寿町、持光寺、東尾崎、東山～黒谷、東蔵外地内） 【布施川】 護岸 L=0.44km（山田～中障地内） 伐木 L=0.90km（布施外外地内） 河道浚渫 L=0.79km（黒、犬山、田家新、魚、木下新外地内） 【早月川】 伐木 L=7.98km（魚、三ヶ、吉野、浅生、滑、大島、栗山、大浦地内） 【角川】 河道浚渫 L=4.67km（住吉～湯上外、金山谷外地内） 伐木 L=0.1km（金山谷地内） 漏水対策 L=0.60km（出地内） R3 【片貝川】 伐木 L=6.95km（東尾崎、立石～平沢地内） 護岸 L=0.11km（黒谷地内） 【布施川】 護岸 L=0.18km（小川寺地内） 河道掘削 L=0.12km（魚、蛇田～黒、山田） 【早月川】 伐木 L=4.17km（三ヶ、中村～栗山地内） 【角川】 漏水対策 L=0.16km（湯上地内） 【土砂・洪水氾濫対策】 黒部川圏域③緊急改築泰谷堰堤ほか ・流域治水プロジェクトの策定 ※流域全体で緊急的に実施すべき対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定し流域治水を計画的に推進する ・片貝川流域治水プロジェクト（R3.8月策定）	引き続き実施											
2	堤防天端の保護 裏法尻の補強	・越水が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばす危機管理型ハード対策を推進	今後検討											
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備														
3	新技術を活用した水防資機材の検討及び配備	・新技術に関する情報を収集し、活用できる水防資機材について検討及び配備	引き続き実施			・今後、水防資機材の補充・追加等の際には、新技術を活用した水防資機材による配備充実	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討			
4	洪水時の状況を把握し、円滑な避難活動や水防活動を支援するため、雨量計、水位計（簡易水位計を含む）、河川監視カメラや量水標等の基盤の整備	・河川監視カメラの設置 ・危機管理型水位計の設置 ・河川監視カメラの設置・HP公開9基 片貝川水系4基（片貝川2、布瀬川ほか1） 早月川水系1基（早月川） 角川水系4基（角川2、坊田川ほか1） ・危機管理型水位計の設置5基 片貝川水系1基（小川寺川） 角川水系4基（角川、坊田川ほか2） ・【R4.3】県ホームページリニューアル	引き続き実施	H28～				雨水幹線や普通河川への水位計（簡易水位計含む）、河川監視カメラや量水標等の基盤の整備	今後検討					
5	防災行政無線や防災ラジオ等のデジタル化による改良					・防災行政無線（屋外拡声子局）41→62箇所 の設置 ・防災ラジオの販売。受信感度を向上させるための指導・助言 ・防災行政無線のデジタル化 ・防災行政無線デジタル化に向けた整備	引き続き実施	・防災行政無線のデジタル化（H28実施済） ・防災ラジオのデジタル化	引き続き実施	・防災行政無線のデジタル化を推進	R2			
6	浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び非常用発電装置等の耐水化	・庁舎施設に関する情報を収集 ・水位観測局の耐水化 ・庁舎施設に関する情報を収集 魚津総合庁舎（想定最大でも0Kの設置位置） ・水位観測局の耐水化 片貝川 1基（東城橋）	順次実施	H31.3		・非常用発電装置の耐水対策	実施済	・非常用発電装置の耐水対策	実施済	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討			

項目	具体的な事項の柱	実施する機関									
		富山県		富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市	
		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
7	浸透ますの設置 校庭貯留の実施					・情報を収集し、必要性を検討	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討
8	各戸貯留・浸透施設の設置に対する支援制度の確立 水田貯留に対する支援制度の確立					・情報を収集し、必要性を検討	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討	・情報を収集し、必要性を検討	今後検討
9	農業用排水路に設置されている水門管理の徹底	・気象情報に応じて、文書による市、土地改良区宛に事前点検や注意喚起の通知	引き続き実施			・気象情報に応じて管理者へ依頼	継続実施	・連絡体制確立の検討	今後検討	・連絡体制確立の検討	今後検討
10	応急的な退避場所の確保	・適切な避難経路を確保するため、想定最大規模降雨による浸水想定区域図を公表 ・適切な避難経路および避難場所を確保するため、土砂災害警戒区域を指定・公表	順次実施			洪水ハザードマップを作成し、公表	R1	・適切な避難経路を確保するため、想定最大規模降雨による洪水ハザードマップを策定、公表 ・届出避難所登録制度の導入を検討	R1～	浸水想定区域及び避難可能な指定避難所を確認してもらうため、洪水ハザードマップを公表	R2
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29） ・土砂災害警戒区域の指定および公表	H30～ 随時			洪水ハザードマップをR1.2月末作成。5月市報及び市HPにおいて周知、公表	R1～R2	・新たなハザードマップの作成、全戸配布、公表（R1.10）	R1		
11	ダム等の洪水調節機能の向上・確保	・洪水調節機能を維持・確保するための浚渫等の実施 ・事前放流の運用による洪水調整機能の強化	引き続き実施								
		・測量による堆砂状況の把握 ・事前放流の運用開始 二級水系の県管理ダム（R3.3治水協定） （一級水系の県管理ダム（R2.5治水協定）） ・富山県二級水系ダム洪水調節機能協議会の設置（R4.3）	引き続き実施	富山県二級水系ダム洪水調節機能協議会に参加（R3）	R3～						
12	重要インフラの機能確保	・インフラ・ライフラインの被災する危険性が高い箇所において砂防堰堤等の整備を推進	H30～								
		・片貝川水系大沢谷川 ・片貝川水系日尾谷川 ・片貝川水系尾山大谷川 尾山工区 ・黒部川圏域③緊急改築桑谷堰堤ほか	実施済 H29～ H30～ H30～								
13	樋門等の施設の確実な運用体制の確保	・樋門や水門等の自動化・遠隔操作化等について検討 県河川管理の樋門等なし									
14	河川管理の高度化	・河川管理におけるドローン活用の検討	引き続き実施								
		【R1～R2】 各土木等にドローンを配備（空中8台、水中3台）	R1～								
2. ソフト対策の主な取組											
①河川特有の洪水を理解するための周知・理解促進の取組											
■平時から住民等への周知・教育・訓練に関する取組											
15	水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	今後検討			・水害の歴史、洪水特性の周知理解促進のための副教材の作成・配布	今後検討	・配布に協力	順次実施	・配布に協力	順次実施
16	出前講座等を活用した啓発を積極的に実施	・出前講座等を活用した啓発を積極的に実施	引き続き実施	・自治体の教育委員会と連携し、効果的な水防の避難や訓練など支援	引き続き実施	・学校担当課と調整	H28から検討	・教育委員会等との協議 ・要望があった場合、出前講座を実施	順次実施	・小・中学校から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施	引き続き実施
	小中学校等における水災害教育を実施	・出前講座等を実施 ・「eラーニング「大雨の時にどう逃げる」をHPで公開（R2） ・広報活動「気象台へ行こう2021」をWEB上で実施し大雨や洪水害及びキキクルの解説資料を掲載。（R3）	引き続き実施	・出前講座等を実施 ・「eラーニング「大雨の時にどう逃げる」をHPで公開（R2） ・広報活動「気象台へ行こう2021」をWEB上で実施し大雨や洪水害及びキキクルの解説資料を掲載。（R3）	引き続き実施	・荻生小学校6年生に対し出前講座を実施 R2.11.14（生徒、保護者70名）	R2			・小学校教頭会に対し出前講座を実施 R元.5.21 寺家小学校（教頭等約10名） R2未実施（コロナ対策） R3未実施（コロナ対策）	引き続き実施

項目	富山県		富山地方気象台		実施する機関		魚津市		滑川市		
	カテゴリ	実施内容	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	
17	出前講座等を活用し、水防災等に関する説明会を開催	・出前講座等を活用した啓発を積極的に実施	・出前講座等を活用し水防災に関する説明会を実施	引き続き実施	順次実施	・要請により、積極的な出前講座等	引き続き実施	・要望があった場合、出前講座を実施	引き続き実施	・町内会長から要望があった場合、ハザードマップの周知や災害情報の入手方法などの出前講座を実施	引き続き実施
		・魚津市主催の会議でダム機能について説明 R01.06.22 魚津市防災力向上会議 ・富山県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会（R1.7.3）	・魚津市と大雨後の警報等の振り返り（R1） ・上市町と大雨後の警報等の振り返り（H30） R2.11.27 防災気象講演会を実施 R3.11.30 防災気象講演会を実施 ・防災担当者向け水害の災害対応に関する防災ワークショップを実施（R3）	引き続き実施	H29～	・出前講座等を実施（防災と減災） R2.6.20 栄町町内会（18名） R2.6.25 大布施自治振興会（14名） R2.8.6 宇奈月公民館（12名） R2.10.4 黒部市手をつなぐ育成会（13名） R2.10.15 保育所長会（16名） R2.10.29 大町町内会（14名） R2.11.14 荻生小学校（70名） R3.5.24 古御堂サークル（15名） R3.5.31 地域ケア会議（42名） R3.6.27 荻生第三自主防災会（50名） R3.11.24 荻生第一自主防災会（35名）	引き続き実施	・出前講座（うおづまちづくりふれあい講座）を実施 H31.4.18 経田高齢者学級（49名） R1.8.2 富山県生涯学習カレッジ（35名） R1.9.17 魚津商工会議所青年部（36名） R1.11.24 西布施地区蛇田アロク自主防災会（26名） R2.2.2 晴海ヶ丘防災委員（23名） R2.10.6 住吉倶楽部（18名） R3.1.26 魚津市民館連合会（40名） R3.5.20 東尾崎なかよしサロン（28名） R3.7.8 富山県老人クラブ連合会（19名） R3.10.21 下中島地域自主防災会（35名） R3.10.28 江口サロン（10名）	引き続き実施	・出前講座等を実施 R元.8.27 追分 R元.11.3 早月加積地区 R02.2.9 中新 R2未実施（コロナ対策）	引き続き実施
18	効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報資料を作成、HPへの掲載等（協議会で作成） ・マイタイムライン作成への支援	・関係機関と連携して効果的な対応に協力	順次実施	引き続き実施	・「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布	H28～	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	順次実施	・国や県が作成する「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を配布	順次実施
		・協議会資料等をHPに掲載 ・【R2】マイ・タイムラインシートの作成及びイベントによる普及啓発	・「警報級の可能性」→「早期注意情報」や「危険度分布」→「キキクル」に名称変更してなどの広報用チラシの配布（H30・R1・R2・R3） ・気象庁ホームページリニューアル（R2）及び周知（R3）	引き続き実施	引き続き実施	・県管理河川に係る水害対応タイムライン（防災行動計画）の作成	R2.3作成			・防災情報、避難所運営BOOKを作成し、避難所へ配布及びHP掲載（H30） ・一部修正、避難所や自主防災組織（町内会）等へ配布及びHP掲載（R2）	H30 R2
		・流域治水プロジェクトの策定 ※流域全体で緊急的に実施すべき対策の全体像を「流域治水プロジェクト」として策定し流域治水を計画的に推進する ・片貝川流域治水プロジェクト（R3.8月策定）									
19	自治会や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所での共同点検の実施	・重要水防箇所等の共同点検の実施		今後検討		・重要水防箇所等の共同点検に参加	引き続き実施	・河川管理者が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加	引き続き実施	・河川管理者が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加	順次実施
20	「災害・避難カード」を用いた平時からの住民等への周知・教育・訓練	・災害・避難カード作成時に同席し、防災教育に参加		今後検討		・防災・福祉マップを作成し、啓蒙を図る ・災害・避難カード作成時に防災教育を実施	引き続き実施	・災害・避難カード作成時に防災教育を実施	順次実施	・「災害・避難カード」の作成について検討	今後検討
21	災害リスクの現地表示	・ハザードマップ作成の基礎資料となる浸水想定区域図の公表 ・ハザードマップ作製の基礎資料となる土砂災害警戒区域の指定および公表		順次実施		・ハザードマップ見直しの際に検討	今後検討	・必要に応じて検討	順次実施	・洪水ハザードマップに家屋倒壊、氾濫想定区域等を掲載	R2
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29） ・土砂災害警戒区域の指定・公表		H30～ 随時			過去の災害履歴や危険箇所等を住民から聞き取り、洪水ハザードマップに表示。5月市報と併せて全戸配布した。	R2			
22	避難訓練への地域住民の参加促進	・水防管理団体が行う訓練等の支援及び参加		引き続き実施		各地区自主防災組織が行う訓練等の支援	引き続き実施	想定最大規模降雨による洪水ハザードマップの周知を図り、それを活用した洪水に対する避難訓練の検討を行い、情報発信しながら参加の促進につなげる。	今後検討	・総合防災訓練への住民参加	R3予定
		参加実績 【H28～R1】水防管理団体が実施する水防訓練 【H28～R1】北陸地整管内水防技術講習会 【R1】魚津市総合防災訓練（松倉地区ほか） 【R3】魚津市総合防災訓練（経田地区ほか）		引き続き実施		実績 【R3】7地区 【R2】8地区、【R1】10地区、 【H30】11地区【H29】11地区	引き続き実施				・富山県総合防災訓練に参加 R3.8.1
23	住民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図るための自主防災組織の充実及び地域包括支援センター・ケアマネージャーとの連携	・自助・共助の促進のための普及啓発を実施するとともに、市町村と連携して自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援		引き続き実施		・出前講座の実施 ・市総合防災マップの配布 ・資機材整備や避難訓練を支援	継続実施	・自主防災組織の資機材整備や避難訓練等を支援（資器材整備はH27で概ね完了） ・地域包括支援センター・ケアマネージャーとの連携については、今後検討	順次実施	・広報・HP等	順次実施
						・ハザードマップを用いた図上訓練の実施 R1 1地区	引き続き実施	・自主防災組織の避難訓練を支援 R1 総合防災訓練に併せて実施（1地区） R2 総合防災訓練に併せて実施（1地区） R3 総合防災訓練に併せて実施（1地区）	引き続き実施	・自主防災活動補助金を交付 R1 23団体（市全域） R2 13団体 R3 15団体	引き続き実施

具体的な事項の柱		実施する機関											
項目	カテゴリ	富山県		富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市			
		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期		
24	住民一人一人の避難計画・情報マップの作成促進	・マイタイムライン作成に向けた市町村の取組みを支援	R2～			マイタイムラインの作成促進	R2～	魚津市版マイタイムラインの作成促進	R2～	マイタイムライン作成について、市広報5月号に掲載	・R2実施 ・R3実施予定		
		・【R2】マイ・タイムラインシートの作成及びイベントによる普及啓発	R2					魚津市HPに【洪水版】マイタイムライン(例)を掲載	R1.12				
25	水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・県HPに問い合わせ窓口を設置	引き続き実施			・問い合わせ窓口の設置	H28～	・情報を収集し必要性を検討	今後検討	・情報を収集し必要性を検討	今後検討		
		・相談窓口をHPに掲載	引き続き実施										
②迅速かつ確実な避難行動のための取組													
■情報伝達、避難計画等に関する取組													
26	想定最大規模降雨による浸水想定区域図、浸水継続時間、家屋倒壊等氾濫想定区域等の作成・公表と適切な土地利用の促進	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表	順次実施										
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川 (H31.3.29) 布施川 (H31.3.29) 早月川 (H31.3.29) 角川 (H31.3.29)	H30～										
27	新たな洪水ハザードマップの策定（広域的な避難計画等も反映）	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表 ・新たな洪水ハザードマップ策定の支援	順次実施			・新たな洪水ハザードマップの策定 ・広域避難の実現性について検討 ・地域防災計画の見直し（R2.4月）		県の浸水想定区域を受けて実施		・新たな洪水ハザードマップの策定	R1	・洪水ハザードマップの更新	R2予定
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川 (H31.3.29) 布施川 (H31.3.29) 早月川 (H31.3.29) 角川 (H31.3.29) ・市町村担当者向け説明会の開催 (H31.2.20、R1.9.5)	H30～			・洪水ハザードマップの作成 (R2.5月公表予定) ・市報掲載 (R2.5月号) ・地域防災計画の見直し (R3.7月)	H30～	・新たなハザードマップの作成、公表 (R1.10)	R1	・新たなハザードマップの作成 (R2公表)			
28	新たなハザードマップの各戸配布・周知 (ハザードマップポータルサイトや地図情報等の活用など)	・想定最大規模も含めた浸水想定区域図や家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表 ・新たな洪水ハザードマップ策定の支援	順次実施			・新たなハザードマップの各戸配布・周知	R1	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	R1	・新たなハザードマップの各戸配布・周知	順次実施		
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川 (H31.3.29) 布施川 (H31.3.29) 早月川 (H31.3.29) 角川 (H31.3.29) ・市町村担当者向け説明会の開催 (H31.2.20、R1.9.5)	H30～			・洪水ハザードマップの作成 (R2.5月公表予定) ・市報掲載 (R2.5月号)	H30～	・新たなハザードマップの作成、全戸配布、公表 (R1.10)	R1	・新たなハザードマップの作成 (R2公表)			
29	リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実 (水位や河川状況等ライブカメラ情報、避難情報) 危険レベルの統一化等による災害情報の充実	・富山県総合防災システムにより、①県と参加可能な市町村・防災関係機関等がリアルタイムで閲覧、書込み、情報共有を実施。②また、Lアラート等を活用し、報道機関等との連携により住民等へ被害情報等を迅速・的確に提供。 ・河川情報システムの改良・携帯端末向けのシステムの実施 ・河川監視カメラの設置 ・危機管理型水位計の設置 ・一般向けの緊急速報メール配信の実施 ・土砂災害警戒情報支援システムの改良	引き続き実施	・気象警報・注意警報を発表し、現象ごとに警戒、注意期間及び雨のピーク時間帯、量などの予想最大値を周知	引き続き実施	・避難情報や気象警報を防災行政無線(屋外拡声子局、防災ラジオ)、緊急情報メール、CATV等を通じて情報発信を実施 ・富山県総合防災情報システムからLアラートを通じ、避難情報等を発信	順次実施	・緊急情報配信メールの活用 防災無線の活用(警戒レベルも含め情報配信対応可能) ・LINE魚津市公式アカウントを利用した防災情報の発信 (R3.4以降実施予定)	順次実施	・防災行政無線の活用 (防災行政無線をデジタル式に再整備)	R2まで		
		・河川監視カメラの設置・HP公開9基 片貝川水系4基(片貝川2、布瀬川ほか1) 早月川水系1基(早月川) 角川水系4基(角川2、坊田川ほか1) ・危機管理型水位計の設置5基 片貝川水系1基(小川寺川) 角川水系4基(角川、坊田川ほか2) ・土砂災害警戒情報支援システムの改良 ・【R4.3】県ホームページリニューアル	H28～ 随時	【R1.12.24】「危険度分布」にリスク情報を重ね合わせを開始。 ・大雨が予想された場合、関係機関に情報伝達を実施 (H30.R1.R2) ・大雨特別警報の警報への切替時に合わせて今後の洪水の見込みについての情報を開始 (R2) ・顕著な大雨に関する情報の開始 (「線状降水帯」というキーワードを用いた解説の実施) (R3)	引き続き実施	黒部市HP、緊急情報配信メール、防災無線を活用して、気象情報等を配信 R1.10.12～13 自主避難所を開設した際の情報を配信	順次実施	・魚津市HP、緊急情報配信メール、防災無線を活用して、気象情報等を配信 R1.10.12～13 自主避難所を開設した際の情報を配信	順次実施	・緊急速報メール、CATV、市メール配信サービスの活用	引き続き実施		
30	避難勧告等の発令に着目した防災行動計画(タイムライン)の整備及び検証と改善	・市町村が作成するタイムラインに必要な水位情報等の提供	順次実施	・富山河川国道事務所、富山県及び関係市町村と共同で整備・改善を支援	引き続き実施	・現在のタイムラインを検証・見直しして、新たに策定 ・洪水に対するリスクの高い場所の水防活動手順・時間を再確認し、タイムラインを整備	H28～	・避難勧告を発令するためのタイムラインの整備 (H30.6魚津市防災タイムラインを制定)	必要に応じて修正	・避難勧告を発令するためのタイムラインの検証と改善	順次実施		
		・HPで水位情報を提供 ・市町村担当者向け説明会の開催 (H31.2.20、R1.9.5)	引き続き実施			・県管理河川に係る水害対応タイムライン(防災行動計画)の作成	R2.3作成	・避難情報の見直しに伴い、魚津市防災タイムラインを修正	R3.8				
31	中小河川において、相当な被害が発生する可能性を予見した場合、首長等への直接の情報提供(ホットライン)の実施	・H29から取組みを開始	引き続き実施	・主な河川を対象とした流域雨量指数による危険度分布の能動的ホットライン	順次実施	・H29から取組みを開始	引き続き実施	・H29から取組みを開始	引き続き実施	・H29から取組みを開始	引き続き実施		
		・運用 (H29～) 実績 0回 (氾濫危険水位到達河川なし)	H29～	・大雨が予想された場合、富山県等に情報伝達を実施 (H30、R1)	引き続き実施	・運用 (H29～) 実績 0回 (氾濫危険水位到達河川なし)	H29～	・運用 (H29～) 実績 0回 (氾濫危険水位到達河川なし)	H29～	・運用 (H29～) 実績 0回 (氾濫危険水位到達河川なし)	H29～		

具体的な事項の柱	項目	実施する機関									
		富山県		富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市	
		カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容
32	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供 要配慮者利用施設管理者向け説明会への支援	順次実施			各施設へ避難計画の作成および訓練の促進を呼びかけ 総務課、福祉課、こども支援課と連携し、要配慮者施設へ避難計画の作成について会議を開催（R2.2月） 保育所長会にて避難確保計画作成の呼びかけ（R2.10月）	H28から検討	各施設へ避難計画の作成および訓練の促進を呼びかけ	順次実施	各施設へ避難計画の作成及び訓練の促進を呼びかけ	順次実施
		洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29） 要配慮者利用施設管理者向け説明会での説明 H31.2.15 魚津市施設管理者（18施設） R2.10.15 魚津市施設管理者（40施設） H31.3.26、27 介護保険施設等に対する合同説明会 富山県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会（R1.7.3） 市町村担当者向け説明会の開催 （H31.2.20、H31.4.8、R1.9.5、R2.8.25、R3.8.26）	H30～			市内対象施設85施設のうち66施設で避難確保計画を作成済 うち、50施設で避難訓練を実施（H30～R3） （R4.2月末時点）	H29～	計画規模降雨については、作成済 想定最大規模については、説明会等を開催 要配慮者利用施設の「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」が義務化されたことをHPに掲載。 R2.10.15 避難確保計画作成講習会（参加：40施設） R4.2.14現在 対象要配慮者利用施設46施設の内、42施設が、避難確保計画を作成 対象要配慮者利用施設46施設の内、R3年度に23施設が、避難訓練を実施	H30～	市内対象施設1施設が未作成 （R4.2月末時点）	H29～
33	立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討	浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間及び家屋倒壊危険区域の公表	順次実施			家屋倒壊危険区域等より、立ち退き避難が必要な区域を検討 避難所ごとに水害時の浸水深や避難の可否について確認	H29～	浸水深、家屋倒壊危険区域を洪水ハザードマップに掲載。	R1	浸水深、家屋倒壊危険区域を洪水ハザードマップに掲載。	R2
		洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～								
34	参加市町村による広域避難計画の策定及び支援	作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	順次実施			県、関係市と連携し検討	今後検討	県、関係市と連携し検討	必要があれば検討	河川管理者、隣接市町などの関係機関と協議を実施し、広域避難に関する計画を検討	必要があれば検討
		洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～								
35	広域的な避難計画等を反映した新たな洪水ハザードマップの策定・周知	作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	順次実施			浸水想定区域見直し後、洪水ハザードマップを策定	H30策定	県、関係市と連携し検討	必要があれば検討	洪水ハザードマップの修正	R2
		洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～								
36	水位予測の検討及び精度の向上 小規模の流域・急流河川に対応する精度の高い降雨・洪水予測の実施				水位と流域雨量指数の検証	毎年実施					
					災害補足捕捉の状況と洪水警報等の基準の検証の実施（H30、R1、R2、R3） 大雨警報（浸水害）と洪水警報の基準に山岳除外格子を導入し、災害に対する警報・注意報の空振り減少について改善（R3.9.30）	H29～					
37	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善				予測精度等の改善を検討	毎年実施					
					(H29.5.17)「危険度を色分けした時系列」と「警報級の可能性」の提供を開始。 (H29.7.4)「危険度分布」の提供を開始。 (R1.12.24)「危険度分布」にリスク情報を重ね合わせを開始。 災害発生状況などと危険度の検証実施（H30、R1、R2）	随時実施					
38	水位周知河川等に指定されていない河川における水害危険性の周知促進や浸水実績等の周知	水位周知河川以外の河川における必要性について検討				水位周知河川以外の河川における必要性について検討	今後検討	水位周知河川以外の河川における必要性について検討 内水ハザードマップの作成	今後検討	中小河川等における内水ハザードマップ作成について検討	今後検討
		早月川・片貝川等グループ対象河川は、全て水位周知河川に指定されている。（角川の支川は法河川あり。坊田川、大座川、入川）									

具体的な事項の柱		実施する機関									
項目	カテゴリ	富山県		富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市	
		実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
39	防災施設の機能に関する情報提供の充実	・河川監視カメラの設置(水位計設置箇所) ・危機管理型水位計の設置 ・洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施	引き続き実施 R1~	関係機関と連携して効果的な対応に協力	今後検討						
		・河川監視カメラの設置・HP公開9基 片貝川水系4基(片貝川2、布瀬川ほか1) 早月川水系1基(早月川) 角川水系4基(角川2、坊田川ほか1) ・危機管理型水位計の設置5基 片貝川水系1基(小川寺川) 角川水系4基(角川、坊田川ほか2) ・全ダムで通知の内容を見直し ・【R4.3】県ホームページリニューアル	H28~ R1	検討中	検討中						
40	ダム放流情報を活用した避難体系の確立	ダムの放流情報の内容や通知タイミングの改善について検討	R1~	関係機関と連携して効果的な対応に協力	今後検討						
		・通知の内容を見直し(非常用洪水吐越流2時間前に関係機関への通知を追加) ・ダムの緊急放流時における情報提供(Lアラート・ホットライン)の運用(R3.6~)	R1	検討中	検討中						
41	災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実	・市町村における各施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制に関する検討の支援	引き続き実施			・施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制等を検討	今後検討	・施設管理者等に対する洪水時の情報伝達体制等を検討	今後検討	・避難所の施設管理者等の携帯電話番号を収集	引き続き毎年実施
		・ハザードマップ作成支援及び内容についての情報共有	引き続き実施								
③洪水氾濫による被害の軽減及び避難時間の確保のための水防活動等の取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する取組											
42	水防団等への連絡体制の確保と首長も参加した実践的な情報伝達訓練の実施	・情報伝達訓練の実施	引き続き実施	・情報伝達訓練等への支援	引き続き実施	・ロールプレイング及び避難行動実働訓練等の実践的な避難訓練	H28から検討	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加	順次実施	・河川管理者が行う情報伝達訓練に参加	順次実施
43	自治体関係機関や水防団が参加した洪水に対するリスクの高い箇所等の合同巡視の実施	・重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き実施	・共同で参加し、重要危険箇所等把握に努め意識共有を計りソフト面では早めの避難行動、水防に役立てる	引き続き実施	・通信体制を見直し、必要な設備の配置	引き続き実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き実施	・河川管理者と水防関係機関で重要水防箇所等の合同巡視を実施	引き続き実施
		・自治体と合同で水防備蓄資材点検を実施 H30.6.1、R1.5.24 魚津市、新川土木水防倉庫 ・魚津市及び地元代表者と調査・確認 H30.12 落合橋水位観測地点 ・黒部市と重要水防箇所を巡視 R1.5.29 スーパー農道橋地点 ・R2、R3 新型コロナウイルス対策のため土木センターのみで実施	引き続き実施			・新川土木と重要水防箇所を巡視 R1.5.29 スーパー農道橋地点	引き続き実施	・河川管理者と合同で水防備蓄資材点検を実施 H30.6.1、R1.5.24 魚津市、新川土木水防倉庫 R2、R3はコロナ対策のため不参加	順次実施	・県(新川土木が巡視を実施) 新川土木所管内河川	
44	関係機関が連携した水防実働訓練等を実施	・県総合防災訓練等において関係機関が連携した水防実働訓練等を実施 ・水防管理団が行う訓練への参加 ・水防工法講習会の支援等	引き続き実施	・要請による訓練への支援	引き続き実施	・毎年行っている水防訓練の内容を見直し、実働型訓練への転換	引き続き実施	・総合防災訓練に合わせて実施	順次実施	・国、県が実施する水防講習会に参加	順次参加
		・県総合防災訓練において関係機関が連携した水防実働訓練を実施 R1.9.29(黒部市、入善町、朝日町) 参加機関 約130機関 参加人員 約13,000人	引き続き実施	・市町村による訓練への参加 H30.9.23 魚津市総合防災訓練 R1.9.29 魚津市総合防災訓練	引き続き実施	・県総合防災訓練において関係機関が連携した水防実働訓練を実施 R1.9.29(黒部市、入善町、朝日町) 参加機関 約130機関 参加人員 約13,000人	引き続き実施				・富山県総合防災訓練に参加 R3.8.1
45	水防活動の担い手となる水防団員・水防協力団体の募集・指定を促進					・災害協定の締結と併せて、水防団員の募集を推進	引き続き実施	・広報誌等で掲載を検討	順次実施	・水防団員を兼ねる、消防団員について、HP等に掲載	引き続き毎年実施
								・魚津市HPに掲載	引き続き実施	・市庁舎内にポスター掲示	引き続き実施
46	国・県・自治体職員等を対象に、水防技術講習会を実施	・水防技術講習会に参加	引き続き実施			・水防技術講習会に参加	引き続き実施	・水防技術講習会に参加	引き続き参加	・水防技術講習会に参加	引き続き毎年実施
		・水防技術講習会に参加 H30.10.16 1名 R1.10.11 3名 R1.11.14、12.10 各2名 R2.10.14 3名 R2.10.29、1名 R2.11.26 2名 職員1名が水防技術伝え人に認定 R3.11.02 1名 職員1名が水防技術伝え人に認定	引き続き実施					・水防技術講習会に参加 R1.10.11、R1.10.30、R1.11.14 各1名 R2.10.29...2名、R2.11.26...1名	引き続き実施		
47	大規模災害時の復旧活動の拠点等配置計画の検討を実施	・検討に必要な情報(浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等)の提供	順次実施								
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川(H31.3.29) 布施川(H31.3.29) 早月川(H31.3.29) 角川(H31.3.29)	H30~								
48	地域の事業者による水防支援体制の検討・構築					・地域の事業者を組み込んだ水防支援体制	H28から検討	・必要に応じて検討	今後検討	・必要があれば検討	今後検討
								・魚津市HPに魚津市消防団協力事業所制度について掲載	引き続き実施		

具体的な事項の柱	実施する機関											
	項目	富山県		富山地方気象台		黒部市		魚津市		滑川市		
		カテゴリ	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期	実施内容	時期
■要配慮者利用施設や大規模工場等の自衛水防の推進に関する取組	49	要配慮者利用施設による避難確保計画の作成に向けた支援を実施	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供 ・要配慮者利用施設管理者向け説明会への支援	順次実施	・要配慮者利用施設による避難確保計画等の作成を行う際の支援	引き続き実施	・各施設へ避難計画の作成および訓練の促進を呼びかけ ・総務課、福祉課、こども支援課と連携し、要配慮者施設へ避難計画の作成について会議を開催（R2.2月） ・保育所長会にて避難確保計画作成の呼びかけ（R2.10月）	H29～	・必要に応じて支援	順次実施	・避難確保計画策定の推進	順次実施
			・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29） ・要配慮者利用施設管理者向け説明会での説明 H31.2.15 魚津市施設管理者（18施設） R2.10.15 魚津市施設管理者（40施設） H31.3.26、27 介護保険施設等に対する合同説明会 ・富山県精神障害者障害福祉サービス事業所連絡協議会（R1.7.3） ・市町村担当者向け説明会の開催 （H31.2.20、H31.4.8、R1.9.5、R2.8.25、R3.8.26）	H30～			・市内対象施設85施設のうち66施設で避難確保計画を作成済 うち、50施設で避難訓練を実施（H30～R3） （R4.2月末時点）	H29～	計画規模降雨については、作成済想定最大規模については、説明会等を開催 要配慮者利用施設の「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」が義務化されたことをHPに掲載。 R2.10.15 避難確保計画作成講習会（参加：40施設） R4.2.14現在 対象要配慮者利用施設46施設の内、42施設が、避難確保計画を作成 対象要配慮者利用施設46施設の内、25施設が、避難訓練を実施	H30～	・市内対象施設1施設が未作成（R4.2月末時点）	H29～
	50	大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	順次実施			・必要に応じて検討	今後検討	・必要に応じて検討	今後検討	・広報、HPでPRを実施	H30～
			・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～								
51	大規模工場における情報連絡体制の確立及び自衛水防活動の取組	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	順次実施			・大規模工場における浸水防止計画の作成や訓練の実施、自衛水防組織の設置	H28から検討	・必要に応じて検討	今後検討	・広報、HPでPRを実施	H30～	
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～									
■救援・救助活動の効率化に関する取組												
52	大規模災害時の救援・救助活動等支援のための拠点等配置計画の検討を実施	・作成に必要な情報（浸水想定区域の浸水深、浸水継続時間等）の提供	順次実施			・広域支援拠点等の配置等	H28から検討	・河川管理者などから情報提供を受けて計画の策定検討	必要があれば検討	・河川管理者等から情報提供を受けて、関係機関との協議を行い、計画策定	R2～	
		・洪水浸水想定区域図の公表 片貝川（H31.3.29） 布施川（H31.3.29） 早月川（H31.3.29） 角川（H31.3.29）	H30～									
■排水計画（案）の作成及び排水訓練の実施												
53	氾濫水を迅速に排水するため、排水施設の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画（案）を検討・作成	・排水ポンプ車設置可能箇所の検討	今後検討			・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画（案）の作成	H28から検討	・排水ポンプの設置場所の選定	R2～	・排水ポンプの設置場所の選定	R2～	
54	地下街が浸水した場合の排水計画（案）の検討を実施											
55	排水ポンプ車の出動要請の連絡体制等を整備	・連絡体制の確認	引き続き実施			・排水ポンプ車出動要請の連絡体制の確認	引き続き実施	・連絡体制の整備	順次整備	・連絡体制の整備	引き続き実施	
		・連絡先を相互に確認し水防マニュアルに反映	引き続き実施									
56	排水計画（案）に基づき、関係機関が連携した排水実働訓練の実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	引き続き実施			・水防訓練と同様に各自自治体持ち回りで訓練	H28から検討	・総合防災訓練とあわせて実施することを検討	順次実施	・水防管理団体が行う水防訓練等への参加	順次実施	
		【H29】北陸地整整備局管内水防技術講習会への参加 【H30.10.16】水防技術講習会に参加 【R1.10.11、11.14、12.10】水防技術講習会に参加 【R2.10.14、10.29、11.26】水防技術講習会に参加、職員1名が水防技術伝え人に認定 【R3.11.02】水防技術講習会に参加、職員1名が水防技術伝え人に認定	引き続き実施									

※青：R2追加項目